【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公開番号】特開2011-12811(P2011-12811A)
【公開日】平成23年1月20日(2011.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2011-003
【出願番号】特願2010-145732(P2010-145732)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　3/74　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　3/74　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月8日(2011.6.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１４】
クランクシャフト（１０）を有したモータ部（４）と、
前記クランクシャフト（１０）に機能的に接続された補機プーリ用ドライブシャフト（３６）と、
前記補機プーリ用ドライブシャフト（３６）と前記クランクシャフト（１０）とを機能的に連結する撓み継手部材（４０）と、
を備えたジェネレータシステム（２）において、
前記撓み継手部材（４０）は、複数の可撓性ドライブリング（６４～６６）を有し、前記クランクシャフト（１０）に対する前記補機プーリ用ドライブシャフト（３６）の位置関係のずれに適応するように、前記補機プーリ用ドライブシャフト（３６）を、半径方向の荷重がかかっているときには半径方向に撓ませ、軸方向の荷重がかかっているときには軸方向に撓ませることを許容しつつ、捩りによる変位を実質的に生じることなく、前記クランクシャフト（１０）から前記補機プーリ用ドライブシャフト（３６）にトルクを伝達するように、前記可撓性ドライブリング（６４～６６）が構成されていることを特徴とするジェネレータシステム（２）。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明の他の特徴は、ジェネレータシステムが、クランクシャフトを有したエンジンと、クランクシャフトに機能的に接続された補機プーリ用ドライブシャフトと、該補機プーリ用ドライブシャフトとクランクシャフトとを機能的に連結する撓み継手部材と、を備えていることである。撓み継手部材は、複数の可撓性ドライブリングを備える。クランクシャフトに対する補機プーリ用ドライブシャフトの位置関係のずれに適応するように、補機プーリ用ドライブシャフトを、半径方向の荷重がかかっているときには半径方向に撓ませ、軸方向の荷重がかかっているときには軸方向に撓ませることを許容しつつ、捩りによる変位を実質的に生じることなく、クランクシャフトから補機プーリ用ドライブシャフトにトルクを伝達するように、可撓性ドライブリングが構成されている。